

施設名	1	2	3	4	5	6	7	8
指定管理者	長生園 社会福祉法人富士厚生会	救急医療センター 富士宮市救急医療協会	総合福祉会館 富士宮市社会福祉協議会	天子の森 天子の森運営協議会	袖野の里活性化施設 大鹿産区	富士山天母の湯 ㈱ユアーズ静岡	新稲子川温泉ユー・トリオ ㈱サンアメニティ	富士宮聖苑 ふじのみや斎苑管理グループ
利用状況	(令和6年3月31日現在) 入所者49人(男性26人、女性23人) 期間中の退所者9名、新規入所者8名 利用料金(前年度、対前年度比率) —	13,878人(11,196人 124.0%) 160,423,203円(134,288,616円 119.5%) ※診療報酬	75,066人(62,097人 120.9%) 2,892,390円(2,415,680円 119.7%)	(キャンプ&バーベキュー) 5,023人(5,045人 99.6%) 8,252,300円 (8,330,250円 99.1%)	4,937人(3,576人 138.1%)	69,776人(70,264人 99.3%) 入館料収入 25,606,045円 (26,077,741円 98.2%)	36,289人(28,568人 127.0%) 18,184,900円(14,344,170円 126.8%)	— —
苦情、要望内容	1件 要望1件 (苦情・要望に対する早急な対応及び所管課への報告を依頼)	4件 苦情1件(診療体制1件) お礼1件 要望2件 (継続的な苦情等の実態把握と適切な対応を指示)	5件 苦情4件(施設利用4件) 要望1件(施設利用1件) (苦情・要望に対し問題なく対応できている。)	なし (苦情・要望が発生した場合は、農業政策課に報告し、臨機応変に対応するよう指示)	2件 要望2件(施設設備1件、運用1件) (2件ともに早急に対応していた。引き続き臨機応変な対応を依頼)	なし (苦情があった場合は早急・丁寧な対応を依頼)	24件 備品関係(ドライバー・体重計)設備関係(廊下漏水・和室畳)等 (苦情、要望に対し丁寧に、早急に対応していた。)	なし (苦情・要望が発生した場合は、環境企画課に報告し、臨機応変に対応するよう指示)
利用者の要望把握方法、トラブル未然防止	運営委員会、利用者全体会を月1回開催し、利用者の意見を聞きながらコミュニケーションを取り、運営の効率化と利用者の処遇向上を図った。 (意見や要望の把握に努め、トラブルの未然防止、入居者の処遇改善、円滑な運営に努めてほしい。)	意見箱で苦情要望を把握。内容により職員に周知、対応策を検討実施、二次救急の早期受入態勢確保のため医療機関等と連携を密接にした。 (要望等を把握し、今後の運営に生かすよう指示)	利用報告書確認、第三者委員会設置、利用者の意見収集、職員間での情報共有、苦情・要望の記録など (利用者からの要望把握に努めている)	予約時に要望を確認。静かなグループとにぎやかなグループを近づけないなど対応している。 (引き続き利用者の要望把握に努めるよう指示)	利用団体運営協議会、利用者説明会の開催、利用報告書による把握 (引き続き協議会等により要望把握に努めるよう指示)	アンケートや口頭で要望を把握。速やかな対応と従業員への教育に努めた。 (今後も利用者の意見や要望を聞き、サービス向上に努めるよう指示)	利用者との話の中で、改善提案など直せるものは即対応した。クレーム・要望等はスタッフ全員で共有した。 (親切な対応、利用者との対話により要望把握、トラブル防止に努めていた)	意見箱に寄せられた意見・要望に対応。利用者からの意見、要望、苦情等を記録する冊を携行。葬祭業者との意見交換会の実施 火葬後の副葬品について、個別に1日間保管 (今後も迅速かつ適切な対応を指示)
事故、緊急事態内容	5件 無断外出1件、転倒(骨折)1件、誤薬2件、ベッドからの転落1件 (再発防止策を講じ、利用者に指導するよう指示)	なし	2件 事故2件 (迅速かつ適切な対応がとれている。今後も事故が起こらないように適切な対応を指示)	1件 橋の木製欄干の腐敗 (事故につながる前に対応できた。施設巡視を行い、異常があった場合は報告するよう指示)	なし (日常的に建物内外の点検を行うよう指示)	なし (今後も事故防止に努めるよう指示)	6件 盗難、体調不良等 (発生した事件・事故に、通報や連絡など適切に対応を行った。)	1件 霊柩車の自損事故 (安全運転、事故が発生した際の報告について指示)
事故・緊急時対策	緊急連絡簿作成、身元保証人等の確定、変更の行政への依頼、協力病院との連絡調整、夜間非常招集訓練、近隣派出所への名簿提出等 (行政・医療機関等との協力体制の構築、維持に努めるよう指示)	職員連絡網作成、緊急出動の徹底(緊急時における利用者の安全確保及び市への報告を指示)	職員による状況確認、応急処置と必要に応じた救急車等の手配、家族への連絡と状況説明、館長への報告 (引き続き事故・緊急時の体制の維持を指示)	AED訓練などの実施 (継続的な訓練の実施を指示)	防災組織により対応、訓練を実施 (計画的な訓練の継続実施を指示)	人工呼吸・AEDの使用方法等の定期的な確認 (平常時の定期点検と緊急事態発生時の迅速かつ的確な対応のための訓練の継続を指示)	事故・事件発見時の通報体制、市、法人内の連絡体制の確立 (発生した事件・事故に、通報や連絡など適切に対応できていた。)	職員の参集基準の明確化、配備指令の伝達手段確立 火災避難訓練の実施 (引き続き不測の事態に備えた定期的な訓練の実施を指示)
防犯対策、防災対策	夜間宿直、セキュリティシステムの整備 自主防災計画、地震防災計画を策定し、職員教育と訓練を毎月実施(いつ発生しても慌てず対応できるように定期的な訓練の実施を指示)	警備会社との連携を密にし、防犯カメラ、防犯ベルによる防犯体制の強化、市と連携した医療救護体制の整備、火災等災害の予防、職員配備態勢等の研修を実施	監視カメラでのチェック、警備会社による夜間警備、業者への緊急連絡網提出、職員巡回、消防設備保守点検、災害時対応マニュアルの確認、防災訓練の実施	警備会社が入っていること、防犯カメラの設置	管理者が定期的に巡視(災害時の行動や連絡方法、ライフラインの確保等を想定した訓練実施を指示)	機械警備や地元交番への連絡体制の確認、防災訓練の実施 (定期的な訓練の実施や連絡体制の確認を行い、非常時に備えるよう指示)	防犯カメラの設置、定時巡回、AED使用訓練、連絡訓練の実施 (盗難事件後、防犯カメラの設置や注意喚起の表示など早急に対応していた。)	責任者による巡回、警備会社による機械警備、緊急避難誘導体制の確立、器具等の転倒・転落防止等 (防災訓練での課題に対し実際に想定して再確認することを指示)
サービス向上策 新しく行ったこと 改善したこと 自主事業等	個別の外出を中止し、施設内でのカラオケ、映画等を拡充、外出・面会できないストレスを抱えた入所者の精神衛生保持に努める。 ふれあい祭り等行事を毎月実施 (感染症予防と入所者の精神ケアに努めること、積極的な自主事業の実施等を指示)	R6.4の「医師の働き方改革」の施行を前に医師の「宿直直許可」を取得。 診療報酬のオンライン請求対応の実施 抗原検査キットの配布(290セット) (インフルエンザとコロナの同時流行で医療機関ひっ迫の恐れがあったため、キットの配布を指示)	スマートフォン講座、パン作り教室、キー作り教室、高齢者向け体操教室 (施設の目的に沿った自主事業を実施している)	受付時名入りライトボール ペンプレゼント、外部インターネットサイトから予約開始 蜆観察会の実施 ソロキャンプ割引(期間限定) シタケの菌打ち体験	七夕イベントの内容を一新(地元人材の活用、子供と高齢者の交流促進) 「袖野の里まつり」に合わせて泰山子祭りを実施(施設の設置目的である地域と都市住民との交流等を意識した発案と実行を指示)	モラルヘルプとフレンドリーショップ契約を締結。 モラルHPや会報等による告知が可能となった。 じゃんけん大会や宝探しゲーム等のイベントを開催 (モラル会員という新たな顧客への広報が可能となった。今後もサービス向上に努めるよう指示)	食堂における地元農産物使用メニュー開発 売店の地場産産品の販売 (新しいアイデアを実践し、サービス向上のために取り組んだ。)	渡り廊下の書き対策、待合室用の電気ポットの設置 売店及び自動販売機の営業 (利用者のサービス向上に繋がることは、今後も積極的に対応するよう指示)
職員研修等	外部研修、法人内専門部会自主勉強会、虐待防止研修、環境教育研修、感染症対策研修、食中毒等の内部研修	月1回の看護師ミーティングによる情報交換、オンラインによるトリアージ研修の受講		アウトドア安全講習会参加	役員等が利用促進・サービス向上を確認 (引き続きの実施を指示)		接遇マナー研修、AED使用研修の実施 (職員の資質向上、良好な施設の管理運営に努めるよう依頼)	
障がい者、高齢者等への配慮	手帳交付手続き支援、高齢者の日常生活動作に応じた適切な配慮及び対応等	障がい者、高齢者へのいたわりを持った対応の徹底	手話通訳者の配置、点字表記・点訳、通路の障害物撤去、転倒防止策、車椅子配備、浴槽介護用椅子の配備等	対象者にとって利用しやすい場所を優先的に提供	階段に手すりを設置、靴の履き替え用の椅子を設置(すぐ手助けできる環境づくりを指示)	スロープ通路のタイル補修、車椅子の貸出し、大広間で補助椅子貸出(きめ細かい配慮の継続を指示)	65歳以上、障害者手帳提示者への割引実施 (障がい者や高齢者も利用しやすいよう取り組んでいた)	車椅子4台を常設・希望者への速やかな提供、取付室に椅子を設置、待合ホールにバイク椅子を常設
広報の実施状況	入所案内を入所希望者の体験入所時に配布、ホームページによる情報提供、施設見学者への説明	救急医療センターの概要発行、配布	広報紙・ホームページでの施設紹介、小中学生福祉教育での施設見学対	ホームページ、ブログでの情報発信、タウン誌・キャンプ専門誌への掲載	関係団体を通したPR、地元回覧での利用呼びかけ	イベント開催をテレビ・ラジオ・新聞社へ情報提供、モラルHP等での告知 (今後も積極的な広報活動を行うよう指示)	地元コミュニティFM局へのアプローチ、企業防災パートナーへの参加 (ラジオエフを活用して効果的な広報を行った。)	必要と判断する場合は広報(張り紙・放送等)を行う。 (必要なものは正確かつ確実に広報するよう指示)
経費削減策	基本協定書、年度協定書に基づき、老人保護措置費支弁額の範囲内で請求及び精算処理を実施 (入所者の処遇を維持しつつ、経費削減に努めるよう指示)	昼間の照明・空調等の節電対応、保健センターと連携した施設・設備保守管理委託の節電、インターネットリンクによる口座振込手数料の節電 (今後も管理方法を工夫するよう指示)	業務用休日高負荷電力契約、ピークカット調整契約、非常照明器具のLED化等節電、紙の両面使用等 冷暖房切替時の圧縮機運転停止 (今後も経費削減に努めるよう指示)	まとめて買いによる節約、ソーラーライトによる節電 (今後も経費削減に努めるよう指示)	冷暖房の温度管理やエアコンフィルターの清掃 (引き続き節電を心掛けること、フィルター清掃を定期的に行うことを指示)	施設管理委託業者の見直しによる経費削減、仕入れ業者の見直しによる原価削減、相見積りによる納入価格交渉 (今後も可能な範囲で経費削減に努めるよう指示)	こまめなボイラー温度調整、ストレーナーの清掃強化、不要な電灯の消灯 (可能な範囲で経費の削減に取り組んだ。)	運転計画、運転制御によるエネルギーの効率的な使用による施設の省エネルギーを推進 (節約節電に努め、光熱費の高騰の影響も小さく抑えられた。)

施設名	9	10	11	12	13	14	15
指定管理者	富士宮市振興公社	富士宮市振興公社	富士宮市振興公社グループ	富士宮市スポーツ協会・地域ステップアップサービスクラグループ	富士宮市振興公社	富士宮市振興公社	富士宮市振興公社
利用状況	利用者数(前年度、対前年度比率) — 利用料金(前年度、対前年度比率) —	明尾山公園野球場、城山公園運動場、朝霧自然公園(アリーナ) 46,788人(36,470人 128.3%) 3,980,570円(4,563,752円 87.2%)	2,470件(2,448件 100.9%) 142,526人(108,635人 131.2%) 12,077,787円(15,450,320円 78.2%)	453,723人(403,282人 112.5%) 54,258,503円(52,690,035円 103.0%)	44,451人(35,576人 124.9%) 10,705,400円(9,061,130円 118.1%)	43,577人(35,104人 124.1%) 1,876,050円(2,097,540円 89.4%)	36,569人(28,840人 126.8%) 1,289,210円(740,660円 174.1%)
苦情、要望内容	13件 苦情9件(施設環境8件、職員対応1件) 要望4件(施設環境4件) (利用者への対応・要望等について今後も迅速に対応するよう指示)	19件 苦情3件(施設環境2件、職員対応1件) 要望16件(施設環境16件) (昨年度から大きく増加。引き続き、指定管理者で対応可能な要望は速やかに対応するよう依頼)	1件 苦情1件(施設環境1件) 要望1件(施設環境1件) (苦情・要望に対する迅速かつ適切な対応及び同じ苦情が出ないよう対応を行うよう指示)	14件 施設利用8件 施設環境6件 (引き続き苦情・要望に対し適切な対応を行うよう指示)	3件 要望3件(施設利用1件、施設環境1件、その他1件)	1件 要望1件(備品1件)	1件 要望1件(施設環境1件)
利用者の要望把握方法、トラブル未然防止	管理人及び清掃委託者からの連絡、業務日報、ホームページの意見欄意見箱から要望を把握 市民からの要望等に対し必ず結果報告 (誠意をもって速やかに適切な対応を続けるよう指示)	管理人がいる5公園に意見箱を設置、ホームページから利用者の声の収集、作業時に来園者等から直接要望を伺い、対応可能なものから改善した。剪定の要望は担当課と協議した。トラブル発生後に原因究明を行い再発防止に努めた。要望に応え表示看板の設置・張替を実施した。	ヒアリング、アンケート箱設置、利用報告書、ホームページの意見欄による把握 訪談駐車車のチラシによる案内、事前打合せ時に駐車場利用の説明等(要望等は迅速かつ確かな対応、報告等を依頼。トラブル未然防止には十分な事前説明と利用者の理解を得られるよう指示)	意見箱の設置 施設巡回点検時に利用者から意見を伺う。ホームページでの意見把握 (今後も適切な対応を指示)	利用団体代表者会で施設利用方法の説明、運営協議会での意見交換、意見箱の設置、ホームページの意見欄設置、利用報告書の意見欄での把握、駐車場利用方法の丁寧な説明など (今後も利用者との意見交換や利用方法の丁寧な説明継続を依頼)	運営協議会の開催、意見箱の設置、ホームページの意見欄による把握、利用報告書の意見欄による把握 (使い勝手の良い施設になるよう、今後も利用者との意見交換や利用方法の丁寧な説明継続を依頼)	意見箱・ホームページの意見欄・利用報告書の意見欄設置、運営協議会での意見交換 (使い勝手の良い施設とするため、引き続き利用者からの要望を把握するよう指示)
事故、緊急事態内容	5件 緊急事態1件(市道への落木) 事故1件(車両接触事故) 被害3件(落木1件、施設破損2件) (今後も迅速かつ適切な対応と事後報告を指示)	8件 事故3件(作業中の車の破損、プラコンからの落下による怪我等)、緊急事態2件(周辺での熊の目撃情報等)、被害3件(遊具の破損等)	2件 停電1件、火災報知器作動1件 (緊急事態等に迅速な対応をとれるよう日頃からの備えとともに、引き続き利用者の安全・安心の確保に努めるよう指示)	2件 体調不良2件 (熱中症の注意喚起等、利用者の安全安心に配慮し、けがや事故が起きた際は適切な対応を指示)	8件 事故2件(転倒、駐車場の事故) 緊急6件(脅迫文対応、台風対応等) (引き続き有事の際の迅速かつ最善な対応を依頼)	6件 設備破損2件(畳の破損、窓の破損) 緊急4件(脅迫文対応、避難所開設等) (引き続き有事の際の迅速かつ最善な対応を依頼)	9件 事故1件(設備破損) 緊急8件(雨漏り、停電、避難所開設、脅迫文対応) (引き続き有事の際の迅速かつ最善な対応を依頼)
事故・緊急時対策	対応マニュアルの周知徹底、体制整備、通報時の即時対応の徹底 (非常時及び緊急事態に備えた体制確認、訓練の実施を指示)	緊急時対応マニュアルに沿った体制整備 利用者からの通報には直ちに对应事故・緊急時の内容により速やかに市担当課に連絡し協議を行う。 ドクターヘリ離着陸要請に対しての迅速対応 普通救命講習の定期的な再受講、消防訓練	緊急時対応マニュアルの周知徹底 消防訓練の実施 防災連絡会議への出席 (常に危機意識を持った業務従事及び防災・消防訓練の定期的実施を指示)	緊急時の簡易対応マニュアルの掲示 熱中症対策(氷の提供) 救急箱、AED、医務室の定期点検 多目的トイレ呼出ボタンの点検 (日頃から危機意識を持ち業務に従事するよう指示)	事故・緊急時の対応体制を設け周知徹底 (緊急時に適切な対応が取れるように医療機関や市等の関係機関との協力関係の維持に努めるよう指示)	事故・緊急時の対応体制を設け周知徹底 (緊急時に適切な対応が取れるように医療機関や市等の関係機関との協力関係の維持に努めるよう指示)	事故・緊急時の対応体制を設け周知徹底 (緊急時に適切な対応が取れるように医療機関や市等の関係機関との協力関係の維持に努めるよう指示)
防犯対策、防災対策	清掃時の見回り、夜間照明灯の点灯確認(舞々木墓地) 開園・閉園時の見回り、閉園時進入路を閉鎖施錠(朝霧公園) 繁忙期(盆・彼岸)の見回り強化	定期巡回 植込みを調整し、見通しを確保 白尾山公園等へ災害救済ベンダー型自動販売機の設置継続 強風翌日の施設点検	館内外の夜間見回り、外灯の球切れ、ガラス破損等の監視強化等 剪定による死角箇所の減少、混雑時の駐車場・トイレ等の巡回実施、消火器具等の配置の点検	車上狙い防止のための巡回の実施、防犯カメラの録画、監視 防災訓練を年2回実施 甲種防火管理者8人体制 (継続した防犯・防災対策を指示)	ステッカー掲示、2階出入口閉鎖、防犯カメラ及び災害救援ベンダー自動販売機の設置、施設周辺ゴミ放置等注意喚起、消防訓練、情報伝達訓練等 (防災意識の向上、訓練の実施を指示)	宮原交番との情報共有 防犯カメラ・災害救援ベンダー自動販売機設置、施設周辺ゴミ放置等注意喚起、消防訓練、情報伝達訓練等 (今後も防犯対策に努めるよう指示)	西町交番との情報共有 防犯防災対策マニュアルの作成、消防計画に基づく自主点検・消防訓練、情報伝達訓練等 (今後も防犯対策に努めるよう指示)
サービス向上策 新しく行ったこと 改善したこと 自主事業等	ハケツ、柄杓等の備品補充 盆、彼岸期にミニ塔婆・線香を販売、風防ライター無料貸出、墓地清掃代行サービス(朝霧公園)、花壇に花苗を植栽 (利用者のサービス向上に繋がることは、今後も積極的に対応するよう指示)	メルマガの配信実施、大ホールグランドによるイベント情報周知 愛犬との暮らし方教室、剪定木の無料配布、一部公園に災害支援ベンダー型自動販売機を継続設置 (公園の魅力向上や利用者サービスの提供に繋がる新たな取組の検討、実施を依頼)	鑑賞事業 16事業72回 講座事業 6講座117回 (引き続き各事業の充実を図るよう指示)	限ソフトボール場の防球ネット設置、ふじざくら球場フェンスのネット取付、屋外市民プールの温水シャワー使用のためのセンサー設置など 外部インストラクターによるテニス、サッカー教室、職員による教室の実施等 (引き続き利用者のニーズに対応した環境改善、自主事業の充実を指示)	感染症対策で実施していた利用制限撤廃の周知、クーリングシュルター実施の協力、大富士中学校の生徒が作成したポスター等の展示、市主催の文化講演会の入場券の販売、幼児教室の販売、小規模授産所連合会によるハン等の販売コーナーの継続など (利用者の交流及び活動の幅が広がる取組の実施を指示)	クーリングシュルター実施の協力、トイレにキャリボックス設置、市主催の文化講演会の入場券の販売、親子講座、高齢者学級、幼児家庭教育学級の実施、交流センターまつり、印刷サービスの継続等 (利用者の交流及び活動の幅が広がる取組の指示)	
職員研修等	普通救命講習、刈払機取扱作業者技能講習受講済 (適切な人員配置・必要な研修の実施による職員の資質向上を指示)	有資格者及び研修修了者が各業務を担当した。(造園施工管理技士、公園管理運営士、職工・安全衛生責任者教育、刈払機取扱作業者、伐木等業務従事者特別教育、高所作業車運転技能講習)	各種公立文化施設協議会研修会等への出席と定期的な職員間の意見交換の実施、視察研修等	研修の受入れ、フルネース型零落制止用機具(作業特別教育受講等) (業務に必要な資格取得等の研修の充実を指示)	ALWP市民活動支援センター会議への出席、先進施設の視察、甲種防火管理講習の受講 (研修等への積極的な参加を依頼)	初期消火訓練、視察等実施 (利用者へのサービス向上に向けた能力を職員が身に付ける研修への積極的な参加を指示)	消火訓練、避難訓練、通報訓練、防火管理者講習、避難通路確認等 (利用者へのサービス向上に向けた研修への積極的な参加を指示)
障がい者、高齢者等への配慮	車椅子を1台配置(朝霧公園) (継続的な配慮を指示)	障がい者用車両に対する乗り入れ許可、公園使用申請の簡便化、点検時の段差等確認・対応 (誰もが安全安心に利用できる公園づくりの継続を依頼)	ヒアリンググループ補聴システム受信機の利用案内、車椅子のわかりやすい位置への配置、介助が必要な場合は、職員が対応、エレベーター等案内を分かりやすく表示等	障がい者用駐車場の少ないため混雑時に臨時駐車場開設、階段の付き添い、プールにシニア料金設定等 (今後もきめ細やかな配慮を指示)	障がい者用駐車場の周知、老眼鏡設置、車椅子の配備、高齢者への親切丁寧な説明 (引き続き誰もが使いやすい施設となるよう指示)	車椅子の管理、老眼鏡設置、施設案内板の文字を大きく掲出、筆談対応体制の整備 (引き続き誰もが使いやすい施設となるよう指示)	車いす設置・管理、老眼鏡設置、施設案内板の文字を大きく掲出、筆談対応体制の整備 (引き続き誰もが使いやすい施設となるよう指示)
広報の実施状況	振興公社ホームページにサービス内容掲載。墓地清掃代行サービスのチラシ・ポスター配布 (継続した情報提供を指示)	位置図、自主事業等の報道提供、チラシ掲示、市公式SNSによるイベント情報発信 (今後もSNS等を活用した積極的な周知を行うよう指示)	ホームページ、SNSの利用、月刊事業案内の発行、自主事業・講座について広報、地元紙へ掲載依頼 (広報活動の充実、SNS等による情報発信の強化を指示)	ホームページ・SNSでの情報発信、施設利用に関するポスターの設置、地元紙、フリーペーパーでのスポーツ教室日程の掲載 (わかりやすく、最新の情報提供を随時更新するよう指示)	ホームページ・広報紙等を通じた各種講座、活動内容の周知、利用制限緩和のPRなど(社会教育・国際交流・市民交流活動の積極的な広報を指示)	ホームページ・広報紙・地元新聞社等への講座募集記事掲載・取材依頼、地域の学校等への自主事業の案内等 (社会教育・市民交流活動の積極的な広報を指示)	ホームページ・広報紙・チラシ配布で講座受講募集、年間計画の周知 (利用者・稼働率の増加につながるよう、様々な方法での広報活動を指示)
経費削減策	内部で対応可能な業務の外注廃止、広範囲の草刈りに乗用草刈り機使用で人件費削減、紙の両面使用、裏紙使用 (今後も支障のない範囲で努めるよう指示)	水道メーターのこまめな確認、職員による節水な修繕・修理の実施、LED化による省電力化、乗用草刈機の使用による人件費削減、燃料費購入方法の工夫により購入単価削減	節電計画による空調機器の計画運転、蛍光灯等の減灯などの各種節電、光熱水費の使用量の前年比較等 (独自の節電策を評価。今後も経費削減に努めるよう依頼)	照明点灯時間の調整による節電 職員による剪定や簡易修繕の実施 ビレー紙等の管理徹底による経費削減 館内蛍光灯のLED化等 (今後も経費削減に努めるよう指示)	空調機の消し忘れ防止、適切な温度設定、適切な照明の使用、裏紙使用 水道・電気等のメーターを定期的に確認 (利用者の理解を得ながら経費削減に努めるよう指示)	空調機の温度設定・こまめな消灯で電気・ガス使用量削減、電力購入先の変更による電気料削減、裏紙使用、職員による簡易修繕の実施 (利用者からの理解を得ながら、引き続き経費削減に努めるよう指示)	空調機の温度設定・こまめな消灯による節電、職員による草刈り等の実施 (利用者からの理解を得ながら、引き続き経費削減に努めるよう指示)

※太字()内のコメントは、管理者からの報告に対する担当課の分析、指示事項です。